

# カウンセリング2時間

## 北欧女子オーサの 日本探検



### 「一品」探し当て 笑顔に

いつも北欧テイストのシンプルな装いのオーサ。聞く  
と、服は日本よりスウェーデンでそろえることが多いと  
か。ならばと、東京・銀座を舞台に、ファッション関係  
の仕事を経験することになりました。自分に合った服を  
提案してくれるパーソナルスタイリストのもとへ。

### スタイリスト体験

どんな色の、どんなデザイ  
ンの服が自分に合うのか。  
「そんなことを知っていたら、  
服選びに苦労しないよ」とい  
う人に、一対一で助言する  
のがパーソナルスタイリス  
トの仕事だ。日本スポーツビ  
ューティ協会の代表で、年  
齢、性別、仕事もさまざまな  
人の装いを年間150件提案  
する橋本ワコさん(47)に密着  
した。



待ち合わせ場所は銀座の百  
貨店ではなく、隣町・築地の  
オフィスだった。

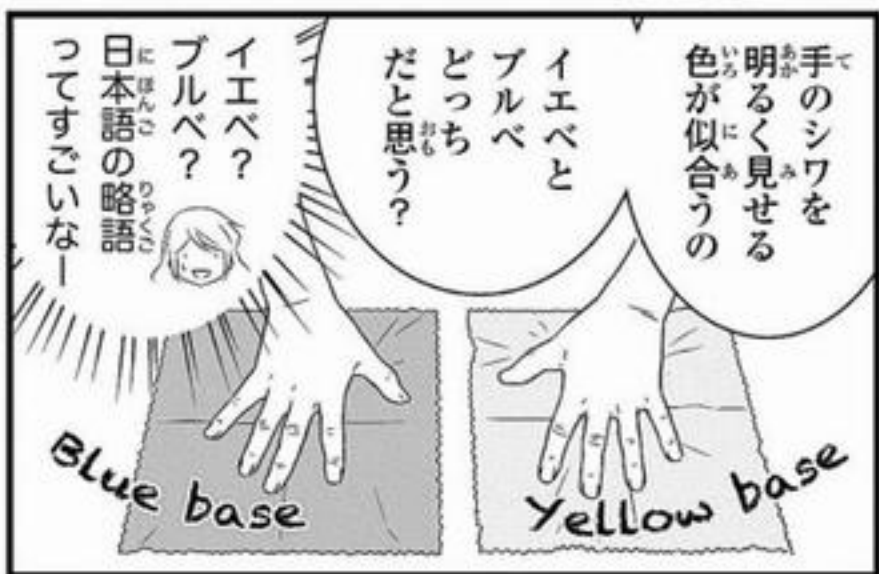
「初めまして。なんだかと  
ても緊張しますね!」。緊張  
しているなんて絶対ウソだ、



パーソナルスタイリスト  
の橋本ワコさん:  
知識が豊富!

似合う色を  
着れば髪と  
顔色白目が  
明るくなって  
シワも目立た  
なくなるから

お客様の  
かつこさん



手のシワを  
明るく見せる  
色が似合うの  
イエベと  
ブルベ  
どっち  
だと思っ  
てますか?

Blue base  
Yellow base



じゃ...  
ブルベ?  
オーサ  
さん...  
私も  
かつこさん  
もイエベ  
です!

オーサさん...  
私もかつこさんも  
イエベです!



本当!  
シワが目立た  
なくなった!  
普通  
の反応  
漫画家  
の反応  
でし  
ょう?

カラー  
センスが  
ないこと  
がばれた!



試着室で次々と変身。びったり  
似合う服を着ると、皆の顔がパ  
ツと明るくなる。東京・銀座、  
斎藤健一郎撮影

### オーサの一言

自分の好みはわかってい  
ても、どんな服が合うのか  
は、意外とわからないもの  
。色や骨格をベースに似  
合う服を覚えてもらえるな  
んて、とても勉強になりま  
した。どの店にどんな服が  
あるか、普段からの情報取  
集も大変で、苦労もある仕  
事ですが、お客さんが笑顔  
になったのを見て、私もう  
れしくなりました。

おしゃべりに、近道なし。似  
合う服や好みを探るためのカ  
ウンセリングが始まった。  
「今日はデニムですけど、  
スカートはあまりはきませ  
んか?」「自転車に乗るから  
スカートはあまり」「でも、  
スカートは持っています?」「  
ふくらはぎをあまり見せ  
たくないから...」。雑談のよ  
うでいながら、洋服選びのヒ  
ントとなる情報をどんどん引  
き出す。笑顔のワコさんの横  
で、真剣な顔のオーサがメモ  
を取る。対比が面白い。

洋服選びのベースは、自分  
に合う色と、骨格のタイプを  
知る。ワコさんが2色の  
布をテーブルに出した。「ど  
ちらが私に合うでしょうか?」  
肌や目の色で大まかにイエ  
ローベイス(イエベ)か、プ  
ルーベイス(ブルベ)に分け  
られる。手を置いて指の関節  
のくすみや、全体のシワが少  
なく見えるほうが合う色だ  
という。オーサが「こっち!」  
とブルベの布を指すと、間髪  
入れず「ごめん。逆なんだ。  
私はイエベなの」とワコさん  
が笑う。「えー! 間違っ  
た」とオーサ。色診断もな  
かなか難しい。

続いて骨格診断。太っても  
やせても変わらない骨格のタ  
イプを知れば、自分に合うデ  
ザインや素材がわかる。スト  
リート、ウェーブ、ナチュラル  
の三つのタイプがあるとい  
う。ワコさんが後頭部の丸み  
や腰の位置など、体に手を添  
えながら見ていくと、克子さ  
んは上半身に厚みがあるスト  
リートタイプだった。首のつ  
まった服や厚手のセーターな  
どは要注意。太って見えて  
しまうという。

ファッションはみっちり  
2時間。「服選びの成否は8  
割が準備にかかっている」と  
ワコさんは言う。  
メイクもして、いざ街へ。  
ショップにズンズン入って  
いく。そして、ワコさんは足  
を止めると、次から次へと服を  
選び始めた。ワンピースやデ  
ニムなど、あつという間に5  
セットを抱えて、克子さんを  
試着室へ誘う。「さあ、着て  
みましょう」。ワコさんの勢  
いに、オーサと目を見合わせ  
て驚くしかない。  
紺のワンピースは「娘の卒  
業式に着たいけど、格式張ら  
ない一着を」という克子さ  
んの希望に応えたもの。首が  
つまって見えないように襟が  
開き、腕の裾のフリルがアクセ  
ントになっている。カーテン  
の向こうから克子さんの声  
があがった。「これ、すっごく  
いい」。姿を見たオーサも  
「かわいい!」。骨格に合う  
直線的なラインと絶妙な丈  
で、気にしていたふくらはぎ  
も美しく見える。  
洋服であふれた大海から、  
自分に合う「これぞ一品」を  
最短で探し当てて喜び。そこ  
にいる全員が顔がパツと明る  
くなった。(斎藤健一郎)

オーサ・イエークストロム 1983年生まれ、スウェーデン出身。日本のアニメと漫画を知り、漫画家になることを決意。イラストレータ  
ー・漫画家として活動後、2011年来日。近著は、コミックエッセー『北欧女子オーサが見つけた日本の不思議④』(KADOKAWA)。

◆今回の「北欧女子オーサの日本探検」は来年1月5日。毎月第2・5週は「be report」です。